

はやかわ



手づくりの 正月飾りで新年を

昨年12月、寿さわやか大学にて、恒例の正月飾り作りが行われました。参加者は慣れた手つきで、今年の無病息災を願い、心をこめて作り上げていました。



the most beautiful
villages
in japan

早川町は「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています。



早川新時代をめざして

町長 辻 一 幸

町民の皆さんには、希望の新年を迎えられたことと存じます。

昨年は、国内外とも大変な年でした。また、早川町も大変な年でした。

今年も、誰もが安心して暮らしていけるための災害復旧に全力で取り組み、一日も早く、町が元の姿に戻ることに、それ以上に安心して住める町づくりに努力を重ねてまいります。

大震災における原子力発電所の事故は、大変な事態となっております。早期の収束を図ることが国と東京電力の責任であります。原子力発電優先で、経済第一主義に走り続けた国の構造は、国土に過疎、過密を生み、私たちの町も今日に至ったと言えます。

こうした中でも、早川町はいつも活力のある町への努力を続けています。それは、誰もがふるさと早川に対する思いと、誰もがこの町をみんなで守り抜くという強い思いがあるからです。このたびの災害への対応や東日本大震災への町民の思いやりを見ても、そのこ

とを強く感じます。

昨年も、上流研の活発な活動、NPO法人早川山守会の台頭や、トラねこ市の開催、「ココロト」での町民の文化展開催等々、これまでの旧村一拠点づくりの上に、さらに新しい息吹が芽生えだしました。一方でリニア建設、中部横断自動車道路の話題と、町の将来に希望のある話題も前進しています。これからも明日に向かって町の可能性を追求してまいります。

変化が到来している今日、私たちは自らが変わり、また自らが強い決意でこれからを変えていかななくてはならないと思えます。

足元の暮らしをもう一度考えてみよう。そして自分たちの地域の良さや価値を再認識してみよう。自然と共生していく暮らしや、その中で本当の豊かさや生き方を見つけ出す努力を自らがしていこうではありませんか。

災害の一日も早い復興を祈り、合わせて、皆々様の新しい年が最良の年になりますようご祈念申し上げます。



年頭に当たり

議長 望月 久 弘

新年明けましておめでとうございませう。

町民の皆様にはご健勝にて、平成二十四年の新春を迎えられたことに、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国内では三月十一日の日本観測史上最も大きい東日本大震災が発生し、地震と津波により東北地方四県を中心に多くの尊い人命を失い、更に福島原子力発電所の事故で放射能汚染等により、いまだ生まれ育った故郷に帰ることができず、他県等に避難している福島県民七万余人が厳しい生活をしています。

町内も、九月に発生した台風十号・十五号により、人的被害は幸いありませんでしたが、道路、水道等で昭和五十七年災害に次ぐ大きな被害を受け、いまだ町内いたる所に被害の爪あとが残っており、町民の皆様にご不便をおかけ致しております。

明るい話題としては、私たちの夢でありましたリニア中央新幹線が、町内の青ガレ付近の南アルプス貫通ルートで通過することが正

式に決定し、夢がふくらんだ年でもありました。長い懸案でありました老人介護施設として、七月に草塩地内に特別養護老人ホーム「草塩おんせん」が、福祉法人富士厚生会により開所されました。高齢化比率が高い早川町としては、高齢者の健康、福祉、介護の施策は、町政の最重要課題でありまして、歓喜にたえません。

また、過疎化による人口減少の中、経費削減を図るため、昨年九月議会では、議員定数等の見直しを審議する議会特別委員会を立ち上げ、今年の九月議会までにその道筋をつけたいと思っております。少子高齢化の中での人口減少等で、集落機能の限界など早川町の課題は山積していますが、厳しい財政の中で昨年被った台風災害の復旧等を中心に、安心安全な町づくりに議決機関の立場から町民の皆様への期待に応えられるよう、最善の努力をいたします。

町民各位のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭の挨拶といたします。

平成二十三年度一般会計補正予算等を承認

12月町議会 定例会議案

十二月町議会定例会が、十二月十二日に開かれました。
平成二十三年度一般会計補正予算等が慎重に審議されました。
審議の内容は、次のとおりです。



条 例

◆早川町税条例中の改正
地方税法の一部が改正されたことによる改正です。

予 算

◆平成二十三年度一般会計補正予算（第五回）

歳入歳出それぞれ四千五百四十六万八千円を追加し、予算総額は二十二億四千五百九万七千円となりました。

（歳入のおもなものの）

▽繰入金

三千五百万円

▽地方交付税

千六十一万三千円

（歳入のおもなものの）

▽繰入金

百八十二万九千円

（歳出のおもなものの）

▽事業費

百八十二万九千円

▽災害復旧費

三千七百三十三万円

▽農林水産業費

三百九十七万円

◆平成二十三年度早川町国民健康保険特別会計補正予算（第一回）

歳入歳出それぞれ九百八十五万八千円を追加し、予算総額は二億八百七十二万六千円となりました。

（歳入のおもなものの）

▽繰越金

九百八十五万八千円

（歳出のおもなものの）

▽諸支出金

八百五十二万五千円

◆平成二十三年度早川町簡易水道事業特別会計補正予算（第四回）

歳入歳出それぞれ百八十二万九千円を追加し、予算総額は九千六百四十五万二千円となりました。

そ の 他

◆三十人学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

全国どこに住んでも、機会均等に一定水準の教育が受けられる豊かな教育環境を整備するよう強く求めるための請願書です。

（歳入のおもなものの）

▽繰入金

五十万四千円

（歳出のおもなものの）

▽総務費

五十万四千円

森林環境税（県民税均等割の超過課税）を導入します

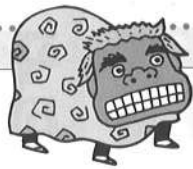
森林には、災害の防止、水源のかん養等多くの公益的機能があります。

山梨県では、この重要な役割を果たす森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくため、平成24年4月1日から森林環境税（県民税均等割の超過課税）を導入します。

県民税均等割に次の額を上乗せ（超過課税）して納めていただきますので、納付の方法はこれまでの県民税均等割と同じです。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- ・個人 年額 500円（平成24年度）
- ・法人 均等割額の5%（平成24年4月1日以後に修了する事業年度から課税）

◇問い合わせ先
 ・税の使い道に関すること 県森林環境総務課 TEL055-223-1634 FAX055-223-1636
 ・税の仕組みに関すること 県 税 務 課 TEL055-223-1387 FAX055-223-1390



新年の挨拶

理事長 深沢正晴

新年おめでとうございます。皆様にはよい年をお迎えのことと存じます。「NPOは資金源が少ないため、積極的な活動をしているNPOの多くが行政からの事業委託に依存しており、その結果、行政の下請け化が進み、自発性や自立性というNPO本来の特徴が失われてしまっている。」という指摘がネット上に示されていました。当研究所も早川町からの事業委託を受けて活動しておりますが、その成果は年々行政運営に反映されてきていると感じています。

研究所における行政からの委託事業の導入は、研究所が行政組織を離れNPO法人に移行した時に始まりました。既にご承知のことと存じますが、研究所の目的、事業の内容は、地域貢献活動を軸に組み立てられています。これは町と研究所の進むべき方向が多分に重なり合うということでもあります。町から委託を受けている事業は、研究所の目的に合致した業務の範囲内といえる訳で、委託事業が研究所の事業と考えてもよいのではないかと思います。そして、何より研究所は、社会的要請に迅速かつ柔軟に取り組むことができると思うのです。そういう点から、NPOが自主性、独自性をフルに発揮できるメニューがもっと存在してもよいと思うのです。

とはいえ、指摘のような下請け化による本来の活動が狭められたり、硬直化やマンネリ化に陥るようなことは避けなければなりません。また、研究所は地域社会との信頼関係が構築されなければよい仕事ができるはずありません。

さて、新年にあたり研究所では認定特定非営利活動法人（認定NPO）の取得を目指していきます。この制度は、財政基盤の脆弱な特定非営利活動法人に対し、寄付が集まりやすいようにという配慮がなされたもので、認定を受けると認定NPOに寄付された個人、法人に税制上の優遇措置が受けられるというものです。現在山梨県においては1法人が認定されておりますが、認定を受けるべく取り組んでまいります。

研究所では早川町の課題に対する調査研究や提言、地域の支援活動などに努めてまいります。本年もどうぞよろしくお申し上げます。



▲ 景観計画ワークショップの様子



▲ 古屋集落ボランティアの様子



▲ 赤沢を楽しくする会の話し合い

平成24年度 自衛官等募集案内

募集種目	資格	募集種目	願書受付期間	第1次試験	概要
幹部候補生 舞台を、世界へ	一般・技術 20歳以上26歳未満の者(22歳未満の者は大卒(見込み含む)※大学院修士学位取得者(見込み含む)28歳未満	幹部候補生	平成24年2月1日 ～4月27日	平成24年 5月12日(土) ※パイロット要員 志願者は5月13 日(日)も試験実施	入隊後約1年で幹部自衛官(3等陸・海・空尉、大学院修士学位取得者は2等陸・海・空尉)に昇任
	歯科・薬剤科 専門の大卒(見込み含む)20歳以上30歳未満の者 ※薬剤は28歳未満の者で薬学修士学位取得者(見込み含む)				免許取得後歯科は2等陸・海・空尉、薬剤科は入隊後約1年で3等陸・海・空尉
予備自衛官補 社会に貢献する 新しい力	一般 18歳以上 34歳未満の者	予備自衛官補	第1回 平成24年1月11日 ～4月4日 第2回 平成24年7月17日 ～10月1日	第1回 平成24年4月中旬 第2回 平成24年10月中旬 ※第1回試験で採用予定者数を採用した場合、第2回は実施しない。	3年間で50日間の訓練参加後予備自衛官として任用
	技能 18歳以上 保有する技能により 53～55歳未満の者				2年間で10日間の訓練参加後予備自衛官として任用

【問い合わせ先】 自衛隊山梨地方協力本部 募集課 甲府市北新1-7-9 電話 055-253-1591(代)
自衛隊山梨地方協力本部 南アルプス募集センター 南アルプス市桃園611-2 電話 055-283-5150

* 第4回早川町観光物産推奨品を募集します *

早川町観光協会と早川町商工会では、物産品の推奨を目的とした早川町観光物産品推奨審査委員会を設置しました。

物産品を推奨することにより、品質の向上と販売の促進、そして、早川町の観光PRと郷土意識の高揚を目的としています。

募 集 要 項

- ◇募集基準 ①対象者…早川町に居住、または事業所を置く個人、法人。
②対 象…早川町内において、生産または加工された物とし、食品衛生法、意匠法、計量法、その他関係法令に違反しないもので、かつ、推奨審査委員会で承認を希望するもの。
- ◇審査基準 以下のいずれかの基準を充たしているもの
①伝統産業、地場産業とされているもの。
②早川町の歴史や文化などのイメージを表したもの。
③内容、品質ともに充実し、価格も適正なもの。季節商品も可。
- ◇申請料 無 料
- ◇募集期間 平成24年2月1日～2月29日 午後3時(土・日・祝祭日を除く)
- ◇申請方法 申請書に必要事項を記入し、商品を添えて申請願います。ただし、食品等において賞味期限があるものは審査会直前に提出可。
- ◇問い合わせ先 早川町観光協会(早川町商工会内)
TEL 0556-45-2302
FAX 0556-45-2306

* 平成24年経済センサス活動調査を実施します *

この調査は、全産業分野における事業所及び企業の経済活動の状態を全国的及び地域別に明らかにするとともに、各種統計調査の基礎となる母集団情報の整備を図ることを目的としています。平成24年の活動調査では、平成21年に実施した基礎調査によって得られた情報を有効に活用して売上高や費用等の経理項目の把握に重点を置いた調査を国・県・市町村で行います。

- ◇調査期日 平成24年2月1日現在で実施します。
- ◇調査対象 全国すべての事業所が対象です。
- ◇調査事項 経営組織、事業所の開設時期、従業員数、事業所の主な事業内容、売上及び費用の金額、事業別売上金額等を記入していただきます。
- ◇法的根拠 この調査は、「統計法」(平成19年法律第53号)という法律に基づいた基幹統計として実施しますので、報告義務があります。
- ◇問い合わせ先 県統計調査課
TEL 055-223-1343
FAX 055-223-1347
役場総務課庶務担当
TEL 45-2547 FAX 20-5000

* 中央高校通信制生徒募集のご案内 *

通信制は、主に自宅学習によるレポート作成とスクーリングによって高等学校卒業の資格が得られる課程です。毎日登校する全日制・定時制とは学習形態が違い、自分のペースで学習を進めることができます。また、生涯学習の観点から特定の科目を選び、学習することもできます。

- 募集学科 普通科、衛生看護科
※衛生看護科は、甲府看護専門学校の准看護学科に合格または在籍の者。
- 出願資格 (1)中学校を卒業した者、及び平成24年3月卒業見込みの者、または、高等学校を退学したが再入学を希望する者。
(2)県内在住の者に限る(年齢制限はありません)。
- 募集期間 平成24年3月12日(月)から3月30日(金)一部の日を除く。
- 入学選抜 入学者の選抜は、書類・面接(簡単な筆記等を含む)に基づいて行う。
※出願時には未成年の場合は、保護者の同席が必要です。

入学科と授業料

入学料	500円	生徒会費・諸経費	約2.0万円(3年)
授業料	入学年度は徴収しない2年以降は各人並びに条例による(予定)	教科書・教材費	約4.5万円(3年)

※授業料・教科書代は生徒によって異なります。
※就職者には教科書等の給与補助の制度があります。

募集要綱・出願書類の問い合わせ先

山梨県立中央高等学校 通信制 甲府市飯田5-6-23
☎055-226-4411(代表) ☎055-226-4412(通信制直通)
中央高校(事務室)にて平成24年1月10日より配布していますが、校舎新築工事のため自動車の乗り入れができません。お問い合わせの上ご来校ください。

* 源泉所得講座・決算法人説明会の実施 *

鯉沢税務署と鯉沢法人会共催の研修会に、どうぞ参加してください。受講料は無料です。

1. 平成23年度 源泉所得税講座 実施内容

	実施日時	講座の内容
第2回(上級)	平成24年2月7日(火) PM 1:30~3:30	各種所得の源泉徴収事務 給与所得者の確定申告

2. 平成23年度 決算法人説明会 実施内容

	実施日時	講座の内容
第2回	平成24年2月14日(火) PM 1:30~3:30	決算・申告の実務

■講師

東京地方税理士会甲府支部の税理士並びに鯉沢税務署法人担当官

■会場

1、2とも鯉沢法人会館 2階会議室

■申し込み

電話またはメールにて先着30名で締切り

■お問い合わせ先

社団法人 鯉沢法人会事務局
富士川町鯉沢1085-1
TEL 0556-22-0888
メール k-houjin@trust.ocn.ne.jp

保健の窓



認知症になっても 安心して暮らせますか？

▼「認知症？」

独居高齢者や高齢者のみの世帯が多い早川町では、離れて暮らす家族より先に近所に住む人が物忘れなどの異変に気付き、相談をされることがあります。人との繋がりの中で生きている私達にとって、ご近所さんの認知症発症は一大事です。

▼認知症の問題を乗り越えるには

認知症は、予防法や薬などの研究が行われていますが、治る病気ではありません。ただ、周囲の対応によって、問題とされる行動が改善し、穏やかに生活をしている事例はたくさん報告されています。そこで、「かかわる家族やサービス提供者や地域の人たち皆が、認知症を理解して、お互いに幸せな生活ができる道を探りましょう。自分自身も認知症になるかもしれないのです。認知症になっても安心して暮らせる地域を作りましょう。」とい

うことが叫ばれています。予防や治療と平行して、環境という側面から、この認知症という大きな課題を乗り越えようとするものです。

▼町の課題

「子どもが何とかしてくれささ・」困ったら施設に入ればいいや・」という考えもありますが、離れて暮らす子ども達も、いざとなると途方にくれる場合が多い昨今です。最終的に子どもや施設の世話になるにしても、その前に何らかの援助を受けながら自宅で生活をする期間があるのです。(住みなれた家での生活は何よりの薬でもあります。)この時、どのような地域だったら安心して暮らせるでしょうか。

早川町の皆さんの絆は強く、見守りや支えがあり、認知症の方が暮らしやすい地域だと思います。しかし、支える側も年をとってきている現実、近所だからこそ時には心身に

負担を感じ、「早く施設に入ってくれればいいのに」と願ってしまうという現実もあるのです。このような状況のもとで、絆を維持し、今以上に安心な地域をどう作り出していくか、大きな課題だと思います。

▼考えてみませんか。

左記により、「認知症でもこの地域で住み続けるために」というテーマの講演会とシンポジウムが開催されます。「在宅医療」を切り口に、峡南地域の認知症を皆で考えましょう。認知症に関心のある方ならどなたでも参加できます。近隣の町の皆さんと一緒に明るい道を見出せるのではと期待しているところです。

◎峡南地域の認知症を考えるための講演会

テーマ 『認知症でもこの地域で住み続けるために』
日時 平成二十四年一月二十一日(土)
午後二時三十分～
場所 富士川町ますほ文化ホール
主催 峡南地域認知症対策準備会 峡南在宅医療支援センター
問い合わせ先 (☎42-6177)

(上田美穂保健師)

早川町における空間放射線量率の測定を行いました

福島第一原子力発電所の事故の影響で放射線による被害が心配されています。町では町内の放射線量について測定を行いましたので、お知らせいたします。

■大気中の空間放射線量

町内各地の空間放射線量を12月7日に測定しました。(表1)

測定地点は、校庭や砂場、駐車場の上など、地上5cm及び1mの位置で測定。測定結果は、地上5cm及び1mとも数値は0.094 マイクロシーベルト毎時以下でした。

この空間放射線量の下で1年間生活したとしても、平常時の日常生活における1年間の外部被曝量上限、1mmシーベルトを超えませんが、人体に影響を与えることはありません。

使用機器	NAIシンチレーションサーベイメータ(単位μsv/h)
測定項目	γ(ガンマ)線の「線量当量率」(μsv/h(マイクロシーベルト/時間))
測定法	地上面から1mと5cm地点の空間放射線量率を各5回ずつ測定し、平均値を出します。

■12月7日測定町内空間放射線量(表1)

測定場所	μsv/h(マイクロシーベルト/時間)		備考
	地上5cm	地上1m	
奈良田の里	0.094	0.094	
早川北小学校	0.058	0.064	
早川中学校	0.054	0.056	
早川南保育所	0.070	0.064	
早川南小学校	0.064	0.074	
ヴィラ雨畑	0.062	0.074	
笹走公民館	0.060	0.066	